参議院議員
よしだ ただとも
吉田忠智

まごころ

2026
8月
Vol.17

ご支援に感謝し、一層研鑽に努めます

猛暑のみぎり、ご健勝のことと拝察いたします。

昨年の参議院選挙をはじめ、この間の物心両面にわたる温かいご支援、ご指導に感謝申し上げます。

2月8日に投開票された衆議院総選挙は、高市早苗総理の「非世襲」「女性」「ポジティブ志向」などによる高支持率と有料動画などSNSのフル活用が功を奏し、自由民主党と日本維新の会が4分の3を超える354議席を獲得し歴史的な大勝となりました。一方で、立憲民主党と公明党が結成した中道改革連合は49議席にとどまり、大変厳しい結果となりました。大分県内では、2区「吉川はじめ」、1区「吉良州司」が議席を失い、3区「小林かや子」も議席を獲得することができませんでした。

2月18日から始まった特別国会で高市総理は、衆議院において現場に無理を強いる年度内予算成立を求めるなど数にものをいわせて強権的な国会運営を進めましたが、野党勢力が与党を上回る参議院では立憲民主党が中心となり、熟議の府、良識の府として参議院が役割を果たせるよう努めてきました。しかし、自由民主党と日本維新の会というブレーキの効かない国家主義的政権の下で、国家情報会議設置法や国旗損壊罪法、皇室典範改悪、問題点を残す再審法見直しなどが強行されてきました。また、はじめて殺傷能力のある武器の輸出を可能にする防衛装備移転三原則が閣議決定され、安全保障3文書（国家防衛戦略、国家安全保障戦略、防衛力整備計画）の見直し議論や防衛費の更なる増額、衆議院憲法審査会における前のめりの改憲議論など、平和憲法を踏みにじる動きが強まっており、国会内外での運動強化が求められています。

日本経済は、日経平均株価が7万円を超える一方で、円相場はおよそ40年ぶりに1ドル163円にまでなるという円安。さらにアメリカ、イスラエル、イランによる戦闘継続に伴うホルムズ海峡の封鎖により、原油の調達不安やナフサを原料とする石油化学製品をはじめ日常生活にまで供給不安が広がるとともに、物価上昇が国民生活を直撃しています。こうした中、高市政権は、ガソリン、電気代などの負担軽減、「責任ある積極財政」の名の下での17分野への重点投資や食料品の「実質消費税ゼロ」、給付付き税額控除などに取り組んでいますが、立憲民主党としても意見反映を行い、実効あるものにしなければなりません。

私は、参議院において国土交通委員、決算委員、憲法審査会野党筆頭幹事、また立憲民主党・中道改革連合・公明党3党の決算・行政監視部会座長、立憲民主党では本部常任幹事会議長、そして大分県連代表として精一杯活動を続けてきました。今秋までに県内18市町村（姫島村は街頭で）で国政報告会を行い、10月中旬にも召集される臨時国会に向けて、県内を回りながら現場で奮闘している県民の皆様の切実な思いを国政に反映させるべく努力する決意です。一層のご指導、ご鞭撻をお願いします。

皆様方のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げます。

参議院議員 吉田忠智

国政報告

日頃より温かいご支援を心より感謝申し上げます。2026年度（令和８年度）は、**1月通常国会の冒頭における衆議院解散**という異例の事態により、国民生活に直結する予算や重要法案の審査が大幅に遅れる波乱の幕開けとなりました。特別国会において、吉田忠智は、参議院**憲法審査会（野党筆頭幹事）、決算委員、国土交通委員**としての重責を担い、地元・大分の切実な声を国政の「どまんなか」に届けるべく、国会内外で全力の活動を展開してまいりました。

1．住民の命と暮らしを守る：インフラ整備と災害復旧の最前線

私にとって政治の原点は常に現場にあります。今国会では、大分の安全と発展に直結する課題に総力を挙げました。

2026.03.24 国土交通委員会

2025年11月20日 参議院国土交通委員会において、私はまず同年11月に発生した**大分市佐賀関地区の大規模火災**を取り上げました。170棟以上が焼失したこの未曾有の惨事に対し、私は発災直後から現地を視察し、避難所での切実な声を直接伺いました。委員会では、密集地火災の再発防止に向けた道路拡幅や空き家対策、そして被災者の生活再建に向けた激甚災害指定や特別交付税の追加交付を政府に強く迫りました。その後、**2026年３月24日参議院国土交通委員会**の質疑では、住宅再建の難しさを踏まえ、仮設住宅の入居期限を柔軟に延長するよう求め、「事情があれば延長可能」との前向きな答弁を引き出すことができました。

また、長年の懸案である**東九州新幹線**についても大きな一歩がありました。**令和８年度（2026年度）当初予算**において、基本計画路線の調査費が初めて盛り込まれたのです。私はこれを「歴史的な一歩」と評価しつつも、莫大な財源確保の見通しについて厳しく質し、地域の利便性向上に向けた具体的な前進を求め続けています。

さらに、直近の**7月４日**には、大雨により土砂流出が発生した**JR久大本線の湯平～庄内間**の現場を緊急視察しました。線路の土台が崩れる深刻な被害を目の当たりにし、通勤・通学、観光の要である久大本線の一日も早い安全な運行再開に向け、関係機関との連携を強化しています。

2．物価高から生活を守る：17.6兆円の「眠る予算」を国民へ

2026.07.06 決算委員会

円安と物価高が加速し、大分の家庭や中小企業の経営は限界に達しています。私は、政府の歪んだ予算の使い道を徹底的に正すことに注力しました。

7月６日 参議院決算委員会にて、私は高市総理に対し、政府の「基金」に積み上がったままの17.6兆円もの「眠る予算（税金）」を厳しく追及しました。立憲民主党の試算では、そのうち7.8兆円は今すぐ暮らしの支援に活用可能です。大分でも「生活が苦しい」という悲鳴が届く中、使い道の決まっていない巨額の資金を抱え込み、防衛費ばかりを「数字ありき」で増額する政府の姿勢は、本末転倒と言わざるを得ません。

7月8日 参議院本会議における令和6年度決算に対する討論では、会派を代表し、高市総理の国会軽視の姿勢を批判するとともに、財政規律を無視した「無責任な放漫財政」が円安・物価高を招いていると指摘しました。また、若い世代の未来を守るため、**6月30日**には**奨学金の金利上昇問題**についてプロジェクトチームで議論し、利息の負担増で将来を諦めさせないための「利子補給制度」の導入を政府に強く求めました。

3. 現場から声を上げ、不条理な制度を変える

地域の理不尽を放置せず、法改正や新法制定による救済にも取り組んでいます。

2026.07.09 水俣病被害者救済新法案提出

2021年大分市で発生した「時速194キロの事故」は、全国に衝撃を与えました。**6月25日**、多くの遺族の皆様と共闘してきた**自動車運転死傷処罰法の改正案**が成立しました。曖昧だった危険運転の基準に数値的な指標が設けられたことは、大分の遺族の方が語られた通り「大きな前進」です。

また、公式確認から70年を迎えた**水俣病被害者の救済**も待ったなしです。**7月9日**、私たちは「水俣病被害者救済新法案」を再提出しました。被害者の平均年齢が75歳を超える中、居住地や症状で線引きすることなく、全ての被害者が尊厳ある救済を受けられるよう、最後まで闘い抜きます。

さらに、農業県・大分にとって重要な**就農支援**についても、**5月27日 参議院決算委員会**で農水大臣を追及しました。現在の支援策には「49歳以下」という年齢の壁があり、意欲ある50代以上が排除されています。私の追及に対し、大臣から「年齢に関わらず新規就農者は大事。国として何をすべきか考えたい」との前向きな答弁を得ることができました。

4. 平和憲法を守り、地方の自治を貫く

最後に、今国会で最大の争点となっている憲法問題についてです。衆議院では「緊急事態条項」の新設を柱とする改憲議論が急ピッチで進められています。

2026.05.20 憲法審査会

しかし、**5月20日 参議院憲法審査会**にて私が主張した通り、日本国憲法にはすでに**参議院の「緊急集会」という、非常時でも民主政治を止めないための優れた知恵が備わっています。改憲を「議員任期の延長」という政治家の身分を守るための手段にしてはなりません。**

また、防衛政策の大転換が閣議決定だけで進められ、わが地元の大分分屯地で大型弾薬庫の増設が進んでいる問題についても、**5月18日 参議院決算委員会**で小泉防衛大臣を質しました。周辺住民の不安を置き去りにしたままの軍備増強は許されません。平和国家としての理念と、地域住民への説明責任を果たすよう、引き続き厳しくチェックしてまいります。

「政治は国民の暮らしのためにある」。この当たり前のことを実現するため、私はこれからも大分の現場を歩き、皆様の声を国政の「どまんなか」に届けてまいります。次の国会でも全力で走り抜けます。皆様のさらなるご指導をお願い申し上げます。

「2026年 吉田ただとも総合後援会総会」

4月26㈰10時から大分市のトキハ会館で開催。90名の参加で各議案は原案どおり承認・可決されました。

「立憲民主党大分県総支部連合会2026年定期大会」

5月31㈰13時30分から大分市のTKPソレイユ大分で開催。89名の参加で各議案は原案通り承認・可決されました。

大分県民の代表として

2025年7月20日、この日は、われらの「吉田ただとも」が、多くの仲間たちに支えられながら、渾身の力を持って戦い抜き、見事な勝利を勝ち取った忘れることのできない記念すべき日でした。早いもので、任期6年のうちの1年が過ぎようとしています。

ところで、この1年の間に誠に残念ながら、予想だにしていなかった事態になったことは皆さんご承知の通りです。その1は衆議院選挙の大敗北です。絶対多数を得た高市政権の暴走が始まっています。その2はトランプ大統領によるイラン攻撃です。中東原油が途絶し、世界経済は混乱の渦中にあります。

内外情勢が激変する中で吉田参議の役割は日増しに大きくなっております。党活動・国会における活動に忙殺されておりますが、大分県民代表として認知していただいたからには、諸々の課題について皆さんとお会いして意思疎通をはかりたいと思っています。そのため、国政報告会を7月30日～10月9日の日程で開催することを計画いたしました。可能な方は、ご出席をお願い致します。

おわりに、猛暑の季節です。会員皆様のご健勝を祈念申し上げながら、ご挨拶といたします。

吉田ただとも総合後援会 会長 内田 淳一

ホームページ&SNSのご案内

吉田ただとも　検索

こちらからも吉田ただともの活動をご覧いただけます。ぜひアクセスしてください！

各SNSへ
リンクしています。

- ホームページ
- X
- Instagram
- Facebook
- LINE
- YouTube

「吉田ただとも総合後援会」への入会のお誘い
～あなたも入会しませんか？～

ぜひ、支えてください！

「吉田ただとも総合後援会」では、新規会員の募集を行っています。納入いただいた会費は後援会活動の運営費として適切な支出に努めています。引き続きの、皆様のご理解とご協力をお願いします。

併せて、現会員の皆様には、会員の継続と会費の納入についても宜しくお願いいたします。

入会方法は事務所にお問い合わせください。

皆さんとの新しい出会いをおまちしています！

編集後記

通常国会は、冒頭解散、そして会期末の延長と、政権の都合が優先される場面が続きました。十分な議論を尽くし、国民の声に応える国会でなければ、民主主義への信頼は揺らぎます。一方で、各地で寄せられた皆さまの声こそが私たちの力です。次の国会では、熟議と対話を取り戻し、暮らしに寄り添う政治の実現へ、吉田議員とともにスタッフ一同全力で取り組みます。引き続き温かいご支援をよろしくお願いいたします。(亮)

発行日：2026年8月1日

発行/編集者：立憲民主党 参議院議員
吉田ただとも総合後援会

〒870-0045
大分市城崎町2丁目2-19　城崎法務ビル305
TEL 097-573-8527 / FAX 097-573-8528